



## 最新型焼成窯導入による多品種 「高付加価値瓦」生産とデザイン向上

本事業で設備を導入することにより、デザインに優れた高付加価値瓦を多品種小ロットで生産し、他社との優位性を図った。これにより、弊社が掲げているワンストップ対応も可能となり、新たな一貫生産体制の構築と共に事業拡大を図り、景観づくりに寄与していく。

### Q 取組の背景 Background of efforts

重量、形、強度、色合いなどユーザーニーズは多様多彩である。窯変瓦、黒いぶし瓦、文化財用古色瓦などを指す、色合いや耐傷性、耐寒性、耐塩害などに優れた高付加価値瓦は、製造工程において加熱時間や温度等に左右されることでムラができ、機械だけでなく、職人の技術を要する商品のため外注していた部分がある。その外部発注を自社製造する方向にシフトしたいと考えた。

### 目 事業の実施内容 Implementation content

弊社が所有する従来の窯はトンネルキルンとシャトルキルンがある。それぞれに特徴はあるが、高付加価値瓦は素焼きと還元焼成が必要であるため、現状設備では高付加価値瓦の生産が不可能であった。また製造コスト上、多品種小ロット生産が

難しい状況であったり、いぶし瓦のみの製造であったりと、ユーザーニーズである多種多様で小ロットの製造販売対応が厳しい状況であった。しかし、最新式強制循環式ガス焼成パレットキルンを導入することで、上記の課題点が解決できると見込まれるため、導入を実施した。

### ✔ 事業の成果 Achievement

設備導入により、粘土瓦本来の性能を維持しつつ、光沢度合、艶消し、黒いぶし瓦など和洋の高付加価値瓦が1つのラインで多品種製造が可能となった。また、焼成技術の平準化が進行したことで、熟練者の配置換えも可能となり、全体の技術向上につながる体制づくりができた上、納期も最大2週間短縮することができると見込まれる。製造面でも小ロット生産が可能となり、商品によっては焼成温度の微

妙な調整ができる他、炭素膜の付着具合も調整でき、高機能化を実現した。さらに窯変瓦等の高付加価値瓦は日本最大瓦製造地域の愛知県に注文していた際にかかっていた輸送費、年間200万円のコストカットが見込まれ、大幅に経費削減にもつながった。

### 🌸 5 年計画 Five-Year Plan

国内市場においては高齢化や屋根材の多様化に伴い、業界を取り巻く環境は厳しい。しかし、古民家リノベーションをはじめインバウンド効果もあり、日本瓦の屋根材としての再評価とデザインの多様化が注目されている。また、中古住宅やリフォーム市場は増加傾向にあり、地域密着型企業として、地元を中心に事業を拡大していきたいと考える。今後はきめ細やかな特注色オーダーの要求や本物志向のニーズにより高付加価値瓦の需要が高まると見込まれる。また、弊社は海外マーケティングも開始しており、瓦の提案に着手。全日本瓦工業連盟も世界進出に注力しており、今後はバックアップを受けながら海外展開していく予定である。

【本事業による売上目標】

(千円)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
15,000	17,000	21,000	25,000	26,000



世界に誇れる美しい瓦葺きの  
景観をこれからも守り続ける  
ことが使命



弊社は重要文化財の保存修理をはじめ社寺仏閣など古き良き日本の伝統美を守る施工にも携わっている。これまでの実績や信頼を胸に、さらに技術を深めていき、次世代へ継承すると共に「瓦」を通して観光資源であるこの美しい景観を守り続けていきます。

## COMPANY PROFILE

所在地	〒768-0051 香川県観音寺市木之郷町852
TEL	0875-27-6327
設立	1932年1月
代表者	請川 和英
業種	窯業・土石製造業
従業員数	26名
事業内容	屋根工事請負業、社寺仏閣瓦販売施工、 日本瓦、陶器瓦・販売施工



代表取締役  
請川 和英

日本の伝統と文化を宿す「瓦」の魅力と  
素晴らしさを広げていきたい

「日本の空 日本の屋根 自然環境との調和 格調高い瓦葺きの屋根 それは心のやすらぎと生きる喜びを感じる」をテーマに、創業85年に渡る経験の技術継承により、一般住宅や社寺仏閣などに使用される特殊な飾りや紋様瓦まで幅広く製造し、高品質の瓦を製造施工しております。現在はライフスタイルの変化し、建物のカタチも多様化しましたが、時代のニーズに応えながらこれからも日本の良き伝統文化「瓦」の魅力を伝えてまいります。